平成２２年8月２５日

○今秋限定復活『ひらかた大菊人形「龍馬伝」』のポスター原画が完成

○開幕前日の１０月８日に内覧会を開催、枚方市民２００名様をご招待

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：上田成之助）が経営する遊園地「ひらかたパーク」（略称：ひらパー、所在地：大阪府枚方市枚方公園町）では、京阪電車開業１００周年を記念して、『ひらかた大菊人形』を今秋限定で復活開催いたしますが、ポスター原画が完成しましたのでお知らせします。

５年振りに開催する『ひらかた大菊人形「龍馬伝」』のポスター原画を描き起こしたのは、日本画家の長谷川笑子氏です。長谷川笑子氏は、昭和３０年代から昭和５０年代にかけてひらかた大菊人形ポスターの原画制作に携わられた父・四世 長谷川貞信氏を師とし、平成１０（１９９８）年に五世を襲名されており、菊人形ファンも懐かしい日本画ならではの画風が魅力の作品となっています。

また、開催に先立ち、１０月８日（金）に内覧会を開催し、枚方市民（在学・在職を含む）の中から抽選で２００名様をご招待いたします。『ひらかた大菊人形』を復活開催するにあたり、日頃から京阪電車をご利用いただくとともに、大正元年より『ひらかた大菊人形』の開催地とさせていただいておりました枚方市にお住まいの方に、長年にわたり当社と菊人形をご愛顧いただいたことへの感謝の気持ちを込めて、内覧会にご招待することとしたものです。

長谷川笑子氏の略歴および内覧会の概要は別紙のとおりです。

▲『ひらかた大菊人形「龍馬伝」』ポスター原画

（別　紙）

長谷川笑子(えみこ)氏　略歴

昭和２１(１９４６）年生まれ
日本画家、日本美術院特待
中村貞以氏および父である四世 長谷川貞信氏を師とし、平成１０（１９９８）年に五世 長谷川貞信を襲名
住吉大社、大阪天満宮および道明寺天満宮（藤井寺）の絵所預（えどころあずかり）を拝命
くずは体育文化センター、大阪よみうり文化センター梅田校他の日本画講師を担当

『ひらかた大菊人形「龍馬伝」』内覧会　概要

１．開催日時　　平成２２年１０月８日（金）　１１時～

２．場　　所　　イベントホールⅠ、イベントホールⅡの一部

３．内　　容　　ひらかた大菊人形「龍馬伝」の内覧会

４．募集対象　　枚方市民（在学・在職を含む）

５．募集人員　　２００名

６．応募方法　　往復はがきに参加者全員の住所・氏名（ふりがな）・電話番号・イベント名（ひらかた大菊人形「龍馬伝」）・市外在住者は通勤・通学先を書いて〒573-8666 市文化観光課へ申し込みください（９月２１日必着、１枚４人まで、重複申し込み無効）

７．当選発表　　当選はがきの発送により発表

８．お問い合わせ　　枚方市文化観光課　電話０５０－７１０２-３２０２
「広報ひらかた」９月号において枚方市民の皆様へご案内いたします。
（枚方市は『ひらかた大菊人形「龍馬伝」』を後援）

【ご参考：ひらかた大菊人形「龍馬伝」　開催概要】

〔期　　間〕平成２２年１０月９日（土）～１１月２８日（日）
火曜日休園（１０月１２日、１１月２３日は休まず営業）

〔時　　間〕平日１０時～１７時、土日祝１０時～１８時

〔場　　所〕イベントホールⅠ、イベントホールⅡの一部

〔入園＆入館料〕おとな１，７００円、こども(３歳～小学生)９００円

〔内　　容〕ＮＨＫ大河ドラマでお馴染みの「龍馬伝」をテーマに、豪華絢爛な全１１場面、菊人形２０体、衣装人形７体の菊絵巻を展開します。
エントランスでは、桂浜の景色を再現。「黒船来航」「薩長同盟」「寺田屋とお龍」など激動の時代を駆け抜けた龍馬の生涯を菊人形でご覧ください。
また、会場内で「ひらかた大菊人形　１００年の歴史展」を開催。菊人形名場面のパネルや胴殻などの展示、龍馬とお龍の新婚旅行のエピソードを再現した写真撮影コーナー等をお楽しみいただけます。また、イベントホールⅡでは、菊人形百周年のオリジナルグッズや龍馬グッズを販売するほか、土佐物産展などを展開します。

【ご参考：ひらかた大菊人形の歴史】

『ひらかた大菊人形』は、明治４３（１９１０）年、京阪電車が大阪・天満橋～京都・五条の間で鉄道営業を開始した年に、京阪電車 香里園駅の東側の丘陵地に造成された香里遊園地において開催した菊人形展を起源としています。大正元年（第三回）から開催地を枚方に移し、太平洋戦争の影響による２年間の開催中止を除き、その伝統と技術は絶えることなく受け継がれてきました。しかしながら、菊付けをする菊師や人形菊の栽培者など、制作に係わる者の高齢化と後継者不足のため、それまでの規模と内容を維持することが困難となり、平成１７年の開催を最後に止む無く閉幕いたしました。

以　上